

## 年頭にあたつて



謹んで新年の御慶びを申上げます。

昨年を翻つて見ますと随分変化に富んだ一年でした。最後は選舉に暮れて、本県では長野新知事が誕生しました。

畜産については畜産団地、糞尿処理対策、乳質改善、鶏卵の価格など数多くの問題で賑かでしたが、かなり前進した事はたしかで、特に生産經營については近代化への努力が目ざましく、成果が見られた事は御承知の通りであります。而しながら私が遺憾に思うのは流通面についての研究努力が関係業界に於て未だしの感を深くするものであって、この事が生産面や価格面に反影して参つて居ります。

新県政に於ては各部が協力してこの面の解決に一層の研鑽努力をして頂きたいと思つて居ります。

今まで年毎に新しい提唱が政府から現在まで年毎に新しい提唱が政府から

農政面に於ても数多く出されていますが、海外に依存する不安定な日本畜産の解消、どう云うわけか、あまり効果が上つて居らないのは何故でしょうか。中央政策のみに依存しなくて岡山県独自の畜産政策がいよいよ必要となつてしまひました。

岡山県の畜産行政が中央を寧ろ引っ張つて行きたいものです。

私は豫てから畜産基盤確立に必要なのは飼料問題と考えてまいりました。牧野改良が公共事業として取り上げられていましたが、牧草、飼料作物の基本的研究について未だしの感を深くするもの

あります。本県に是非とも草地試験場を設置して頂きたい。その前提として大畜産の畜産試験場に草地部を作つて頂きたい。何故ルーサンの大量栽培が日本にできないのか、日本ルーサン種の造成がなぜできないのか。濃厚飼料の九〇%を

## 一月号目次

年頭にあたつて 惣津律士 1

これからは生産費と公害防止 渡辺明喜 4

新年を迎えて 三浦道雄 2

拡大・発展・前進 小野登志男 6

◆和牛に想う 石井敏雄 12

◆技術の確立を 大宮嘉造 1

◆年頭所感 川崎晃 16

ごあいさつ

◆大阪だより 石原和夫 20

◆奥さまのかい物 犀川和夫 24

◆コンサル会の広場 牧野勉 25

◆多頭飼育農家に対する家畜共済制度の問題点 井上皎 25

◆この頃思うこと 葉山六蔵 5

◆盆栽あれこれ 凡風人 27

新発売!

バイアル入り

となりました

使いやすくなった  
応用範囲の広い

動物用 活性持続型ビタミン

**アリナミン注射液バイアル**

【成分】 1バイアル(10ml) 中  
TTFD塩酸塩(ビタミンC)  
チトラハイドロフルビリル・ダイサルファイト ..... 272.9mg  
(TTFDとして250mg)  
ブトウ糖..... 20g  
ベンジルアルコール..... 1g  
【効能】 庫労回復、脚気および脚氣様症状、各種神經障害、胃腸運動失調症、ケトーシス、熱性疾患およびこれら疾患に起因する無力状態、急性・慢性湿疹、皮膚炎、薬物・飼料などによる中暑、中暑症、食欲・活力の増強

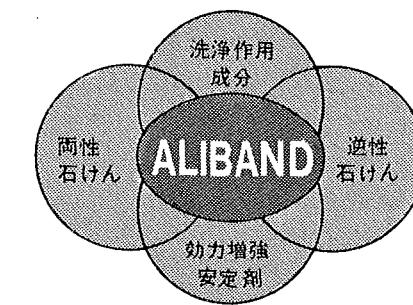
アリナミン注射液バイアルは、人間にも家畜にもすぐれた作用を持つことが裏付けられたアリナミンの水性注射剤で、多数の家畜に能率よく注射できるようにバイアル入りとしたものです。必要な時に必要なだけ、しかも手数をかけずに注射できるので、豚・牛へのグループ投与が便利になりました。

■鶏舎・畜舎の徹底した洗浄・消毒に

**アリバンド**<sup>®</sup>

(家畜伝染病予防法指定消毒薬含有製剤)

洗浄力を強化した殺菌  
消毒剤です。



両性・逆性石けんに、その殺菌力が最も効果的に發揮できる様アルカリ性ビルダーを加えたアリバンドは、汚れの中に浸透して目に見えない殺菌消毒を、より確実に行ないます。

武田薬品工業株式会社・畜産事業部

東京都中央区日本橋江戸橋2-7

## これからは生産費と公害防止

中央畜産会専務理事 三浦道雄

新年おめでとうございます。今年は丑（うし）年で畜産には関係深い年です。お互に手をとりあって畜産の振興を図り、農業の発展のため努力いたしました。さてこれらの畜産ですが、いろいろと曲折はあっても長期的に見ればまだ伸びて行くでしょう。一〇年前に比べて乳牛は二倍に、豚と鶏は二・五倍に殖えました。二〇年前一やつと戦争前のレベルに恢復した頃一に比べると乳牛と鶏は八倍、豚は実に一五倍という殖え方であります。もともと数が小さかったので倍率は大きいのですが、畜産物の消費量で見れば最近の数字で国民一人当たり牛乳は（乳製品を含めて）一日、一三〇瓦ですから（全じく各種肉製品を含めて）一日、三〇瓦ですから羊かん一切れ程度、鶏卵は四〇瓦ですかね。七個で、鶏卵だけはどうやら先進国なみになりましたが、牛乳は欧米のほぼ四分の一程度、肉類は全く七分の一程度でこれを最も消費の多い國と比べると牛乳では六分の一、肉類では九分の一に過ぎません。ですから消費はまだまだ伸びると思ってよいでしょう。

昨年の秋農林省が公表した一〇年後（昭和五十二年）における農産物の需要の試算でも、牛乳関係では六割八割増、肉類関係では二・一・二・五倍、鶏卵では二割増と見込んでいます。何にしても畜産物の需要がまだまだ伸びることは確実です。

ただこの旺盛な需要をどこまで国内生産で供給していくかが問題です。目下よく話題に上っている「日本列島改造論」は重要農産物はその八割は国内生産で確保といつていますが貿易自由化時代で諸外国から畜産物の売込攻勢もあり、円価切り上げの成り行きもありますので、我々畜産関係者としては今後国民の需要に応えて新鮮良質の畜産物をあまり高く大きな金をかけて燃したり、淨化して流して使うのは如何にもつまらぬ次第で、それが変形した糞尿という有用な資源を國內畜産物に対する需要にブレーキをかけることにもなりますので十分に注意しなければなりません。

こうした情勢なのに、一年間、量にして一、二〇〇万トン以上、価格にして二、五〇〇億円もかけて輸入している飼料、畜産食品の農薬の残溜問題は畜産農家だけが責められるべきではないとしても、ああした問題が起ると国民一般の畜産食品への信感が高まり、それが直接間接に畜産物に対する需要にブレーキをかけることにもなりますので十分に注意しなければなりません。

ただこの旺盛な需要をどこまで国内生産で供給していくかが問題です。目下よく話題に上っている「日本列島改造論」は重要農産物はその八割は国内生産で確保といつていますが貿易自由化時代で諸外国から畜産物の売込攻勢もあり、円価切り上げの成り行きもありますので、我々畜産関係者としては今後国民の需要に応えて新鮮良質の畜産物をあまり高く大きな金をかけて燃したり、淨化して流して使うのは如何にもつまらぬ次第で、それが変形した糞尿という有用な資源を国内畜産物に対する需要にブレーキをかけることにもなりますので十分に注意しなければなりません。

## 速報（大阪 石原和夫）

### ダウ五千円は、

株の世界だけではなかつた

日本一、世界一の美牛を選ぶ第二十回

近畿東海北陸連合肉牛共進会が十二月六日より三日間、神戸市で開かれ、名牛百頭あつて、徳島県志和岐の七百十円（本年六月）に及ばないが五百三十円に販売されたように本県産の豚枝肉は清浄豚、ケージ養豚とともに脚光を浴びている。

しかし一方畜産農家としても考える余地があるにあつては、今日の一つとして畜産の能力の経済性にふれて見ましょう。少し極端な云い方をすれば、このところ規模拡大、規模拡大のかけ声が強すぎたため、ただ飼育頭羽数のみが増大し、これが畜産公害の一因をなしているのではないか、頭羽数もさることながらそれ以上に能力を重視する

ことです。そこで糞尿の焼却装置や淨化装置などを施設せざるを得ない畜産家が出て来ているのは当面已むを得ないとし

ても、此等には相当の経費を要し、結局は畜産物の生産費にかかるて来るのですから問題は深刻です。また以前は畜産の

田畠、果樹園草地は勿論、山林業も含めしなければなりません。

田畠、果樹園草地は勿論、山林業も含め

りで有機物が不足して地力が年々劣悪化

し作物の収量が上らないという例が聞か

れ始めています。

こうした情勢なのに、一年間、量にして一、二〇〇万トン以上、価格にして二、五〇〇億円もかけて輸入している飼料、畜産食品の農薬の残溜問題は畜産農家だけが責められるべきではないとしても、ああした問題が起ると国民一般の畜産食

品への信感が高まり、それが直接間接に畜産物に対する需要にブレーキをかけることにもなりますので十分に注意しなければなりません。

ただこの旺盛な需要をどこまで国内生産で供給していくかが問題です。目下よく話題に上っている「日本列島改造論」は重要農産物はその八割は国内生産で確保といつていますが貿易自由化時代で諸外国から畜産物の売込攻勢もあり、円

価切り上げの成り行きもありますので、

我々畜産関係者としては今後国民の需要に応えて新鮮良質の畜産物をあまり高く

大きな金をかけて燃したり、淨化して流して使うのは如何にもつまらぬ次第で、それが変形した糞尿という有用な資源を

も係わらず一方耕地は化学肥料偏重の崇

業は廃肥として施用せられ、土壤の物理的性質を改善し作物に栄養分を供給するものとして農業に欠くべからざるものとされていました。これは、最近では一部においては厄介視されて来たのも問題です。に

とされ、それが変形した糞尿という有用な資源をももしくして地力が年々劣悪化

し作物の収量が上らないという例が聞か

れ始めています。

こうした情勢なのに、一年間、量にして一、二〇〇万トン以上、価格にして二、五〇〇億円もかけて輸入している飼料、畜産食品の農薬の残溜問題は畜産農家だけが責められるべきではないとしても、ああした問題が起ると国民一般の畜産食

品への信感が高まり、それが直接間接に畜産物に対する需要にブレーキをかけることにもなりますので十分に注意しなければなりません。

ただこの旺盛な需要をどこまで国内生産で供給していくかが問題です。目下よく話題に上っている「日本列島改造論」は重要農産物はその八割は国内生産で確保といつていますが貿易自由化時代で諸外国から畜産物の売込攻勢もあり、円

価切り上げの成り行きもありますので、

我々畜産関係者としては今後国民の需要に応えて新鮮良質の畜産物をあまり高く

大きな金をかけて燃したり、淨化して流して使うのは如何にもつまらぬ次第で、それが変形した糞尿という有用な資源を

も係わらず一方耕地は化学肥料偏重の崇

業は廃肥として施用せられ、土壤の物理的性質を改善し作物に栄養分を供給するものとして農業に欠くべからざるものとされていました。これは、最近では一部においては厄介視されて来たのも問題です。に

とされ、それが変形した糞尿という有用な資源をももしくして地力が年々劣悪化

し作物の収量が上らないという例が聞か

れ始めています。

こうした情勢なのに、一年間、量にして一、二〇〇万トン以上、価格にして二、五〇〇億円もかけて輸入している飼料、畜産食品の農薬の残溜問題は畜産農家だけが責められるべきではないとしても、ああした問題が起ると国民一般の畜産食

品への信感が高まり、それが直接間接に畜産物に対する需要にブレーキをかけることにもなりますので十分に注意しなければなりません。

ただこの旺盛な需要をどこまで国内生産で供給していくかが問題です。目下よく話題に上っている「日本列島改造論」は重要農産物はその八割は国内生産で確保といつていますが貿易自由化時代で諸外国から畜産物の売込攻勢もあり、円

価切り上げの成り行きもありますので、

我々畜産関係者としては今後国民の需要に応えて新鮮良質の畜産物をあまり高く

大きな金をかけて燃したり、淨化して流して使うのは如何にもつまらぬ次第で、それが変形した糞尿という有用な資源を

も係わらず一方耕地は化学肥料偏重の崇

業は廃肥として施用せられ、土壤の物理的性質を改善し作物に栄養分を供給するものとして農業に欠くべからざるものとされていました。これは、最近では一部においては厄介視されて来たのも問題です。に

とされ、それが変形した糞尿という有用な資源をももしくして地力が年々劣悪化

し作物の収量が上らないという例が聞か

れ始めています。

こうした情勢なのに、一年間、量にして一、二〇〇万トン以上、価格にして二、五〇〇億円もかけて輸入している飼料、畜産食品の農薬の残溜問題は畜産農家だけが責められるべきではないとしても、ああした問題が起ると国民一般の畜産食

品への信感が高まり、それが直接間接に畜産物に対する需要にブレーキをかけることにもなりますので十分に注意しなければなりません。

ただこの旺盛な需要をどこまで国内生産で供給していくかが問題です。目下よく話題に上っている「日本列島改造論」は重要農産物はその八割は国内生産で確保といつていますが貿易自由化時代で諸外国から畜産物の売込攻勢もあり、円

価切り上げの成り行きもありますので、

我々畜産関係者としては今後国民の需要に応えて新鮮良質の畜産物をあまり高く

大きな金をかけて燃したり、淨化して流して使うのは如何にもつまらぬ次第で、それが変形した糞尿という有用な資源を

も係わらず一方耕地は化学肥料偏重の崇

業は廃肥として施用せられ、土壤の物理的性質を改善し作物に栄養分を供給するものとして農業に欠くべからざるものとされていました。これは、最近では一部においては厄介視されて来たのも問題です。に

とされ、それが変形した糞尿という有用な資源をももしくして地力が年々劣悪化

し作物の収量が上らないという例が聞か

れ始めています。

こうした情勢なのに、一年間、量にして一、二〇〇万トン以上、価格にして二、五〇〇億円もかけて輸入している飼料、畜産食品の農薬の残溜問題は畜産農家だけが責められるべきではないとしても、ああした問題が起ると国民一般の畜産食

品への信感が高まり、それが直接間接に畜産物に対する需要にブレーキをかけることにもなりますので十分に注意しなければなりません。

ただこの旺盛な需要をどこまで国内生産で供給していくかが問題です。目下よく話題に上っている「日本列島改造論」は重要農産物はその八割は国内生産で確保といつていますが貿易自由化時代で諸外国から畜産物の売込攻勢もあり、円

価切り上げの成り行きもありますので、

我々畜産関係者としては今後国民の需要に応えて新鮮良質の畜産物をあまり高く

大きな金をかけて燃したり、淨化して流して使うのは如何にもつまらぬ次第で、それが変形した糞尿という有用な資源を

も係わらず一方耕地は化学肥料偏重の崇

業は廃肥として施用せられ、土壤の物理的性質を改善し作物に栄養分を供給するものとして農業に欠くべからざるものとされていました。これは、最近では一部においては厄介視されて来たのも問題です。に

とされ、それが変形した糞尿という有用な資源をももしくして地力が年々劣悪化

し作物の収量が上らないという例が聞か

れ始めています。

こうした情勢なのに、一年間、量にして一、二〇〇万トン以上、価格にして二、五〇〇億円もかけて輸入している飼料、畜産食品の農薬の残溜問題は畜産農家だけが責められるべきではないとしても、ああした問題が起ると国民一般の畜産食

品への信感が高まり、それが直接間接に畜産物に対する需要にブレーキをかけることにもなりますので十分に注意しなければなりません。

ただこの旺盛な需要をどこまで国内生産で供給していくかが問題です。目下よく話題に上っている「日本列島改造論」は重要農産物はその八割は国内生産で確保といつていますが貿易自由化時代で諸外国から畜産物の売込攻勢もあり、円

価切り上げの成り行きもありますので、

我々畜産関係者としては今後国民の需要に応えて新鮮良質の畜産物をあまり高く

大きな金をかけて燃したり、淨化して流して使うのは如何にもつまらぬ次第で、それが変形した糞尿という有用な資源を

も係わらず一方耕地は化学肥料偏重の崇

業は廃肥として施用せられ、土壤の物理的性質を改善し作物に栄養分を供給するものとして農業に欠くべからざるものとされていました。これは、最近では一部においては厄介視されて来たのも問題です。に

とされ、それが変形した糞尿という有用な資源をももしくして地力が年々劣悪化

し作物の収量が上らないという例が聞か

れ始めています。

こうした情勢なのに、一年間、量にして一、二〇〇万トン以上、価格にして二、五〇〇億円もかけて輸入している飼料、畜産食品の農薬の残溜問題は畜産農家だけが責められるべきではないとしても、ああした問題が起ると国民一般の畜産食

品への信感が高まり、それが直接間接に畜産物に対する需要にブレーキをかけることにもなりますので十分に注意しなければなりません。

ただこの旺盛な需要をどこまで国内生産で供給していくかが問題です。目下よく話題に上っている「日本列島改造論」は重要農産物はその八割は国内生産で確保といつていますが貿易自由化時代で諸外国から畜産物の売込攻勢もあり、円

価切り上げの成り行きもありますので、

我々畜産関係者としては今後国民の需要に応えて新鮮良質の畜産物をあまり高く

大きな金をかけて燃したり、淨化して流して使うのは如何にもつまらぬ次第で、それが変形した糞尿という有用な資源を

も係わらず一方耕地は化学肥料偏重の崇

業は廃肥として施用せられ、土壤の物理的性質を改善し作物に栄養分を供給するものとして農業に欠くべからざるものとされていました。これは、最近では一部においては厄介視されて来たのも問題です。に

とされ、それが変形した糞尿という有用な資源をももしくして地力が年々劣悪化

し作物の収量が上らないという例が聞か

れ始めています。

こうした情勢なのに、一年間、量にして一、二〇〇万トン以上、価格にして二、五〇〇億円もかけて輸入している飼料、畜産食品の農薬の残溜問題は畜産農家だけが責められるべきではないとしても、ああした問題が起ると国民一般の畜産食

品への信感が高まり、それが直接間接に畜産物に対する需要にブレーキをかけることにもなりますので十分に注意しなければなりません。

ただこの旺盛な需要をどこまで国内生産で供給していくかが問題です。目下よく話題に上っている「日本列島改造論」は重要農産物はその八割は国内生産で確保といつていますが貿易自由化時代で諸外国から畜産物の売込攻勢もあり、円

価切り上げの成り行きもありますので、

我々畜産関係者としては今後国民の需要に応えて新鮮良質の畜産物をあまり高く

大きな金をかけて燃したり、淨化して流して使うのは如何にもつまらぬ次第で、それが変形した糞尿という有用な資源を

も係わらず一方耕地は化学肥料偏重の崇

業は廃肥として施用せられ、土壤の物理的性質を改善し作物に栄養分を供給するものとして農業に欠くべからざるものとされていました。これは、最近では一部においては厄介視されて来たのも問題です。に

とされ、それが変形した糞尿という有用な資源をももしくして地力が年々劣悪化

し作物の収量が上らないという例が聞か

れ始めています。

こうした情勢なのに、一年間、量にして一、二〇〇万トン以上、価格にして二、五〇〇億円もかけて輸入している飼料、畜産食品の農薬の残溜問題は畜産農家だけが責められるべきではないとしても、ああした問題が起ると国民一般の畜産食

品への信感が高まり、それが直接間接に畜産物に対する需要にブレーキをかけることにもなりますので十分に注意しなければなりません。

ただこの旺盛な需要をどこまで国内生産で供給していくかが問題です。目下よく話題に上っている「日本列島改造論」は重要農産物はその八割は国内生産で確保といつていますが貿易自由化時代で諸外国から畜産物の売込攻勢もあり、円

価切り上げの成り行きもありますので、

我々畜産関係者としては今後国民の需要に応えて新鮮良質の畜産物をあまり高く

大きな金をかけて燃したり、淨化して流して使うのは如何にもつまらぬ次第で、それが変形した糞尿という有用な資源を

も係わらず一方耕地は化学肥料偏重の崇

業は廃肥として施用せられ、土壤の物理的性質を改善し作物に栄養分を供給するものとして農業に欠くべからざるものとされていました。これは、最近では一部においては厄介視されて来たのも問題です。に

とされ、それが変形した糞尿という有用な資源をももしくして地力が年々劣悪化

し作物の収量が上らないという例が聞か

れ始めています。

こうした情勢なのに、一年間、量にして一、二〇〇万トン以上、価格にして二、五〇〇億円もかけて輸入している飼料、畜産食品の農薬の残溜問題は畜産農家だけが責められるべきではないとしても、ああした問題が起ると国民一般の畜産食





取締役社長

# 長 激 城

が空っぽになつて、物によつては逆流しているらしいですね。

大宮・卵など、生産地では、今日の産

経新聞相場の何円落ちなどと、生鮮食料

品として筋の通つた相場のつけ方と思つ

ておりますが、そうでもないですか。

小野・一見よさそうにみえますが、そ

できるという強みはあります、しかし

現在では日本全国が卵の生産地になつて

おり、それが全部大消費地東京をめざし

ているという形になつております。そし

て東京の需給状況によつて卵価が決めら

れ、それをもとに大阪市場は何円落ち、

岡山は更に何円落ちといふあいに安い

基準で決められてしまいます。ところが

生産県である岡山県でも時期によつては

卵が不足する時があります。その時でも

安い東京相場に右へならえするのですね。

当然ローカル相場があつてよいと思うの

ですがね。この間、野菜のことを耳にし

たのですが、東京より岡山のほうが高い

のですね。

藏知・大消費地に集つてしまい生産地

小野・見よさそうにみえますが、そ

の決め方が、別にセリをするでもなし、

カンペーれば、一部の人の思惑によつて左

右されているのではないかと思われるふ

しがあります。

大宮・株の玄人操作みたいな感があり

ますね。

大宮・株の玄人操作みたいな感があり

ますね。

岡山は更に何円落ちといふあいに安い

基準で決められてしまいます。ところが

生産県である岡山県でも時期によつては

卵が不足する時があります。その時でも

安い東京相場に右へならえするのですね。

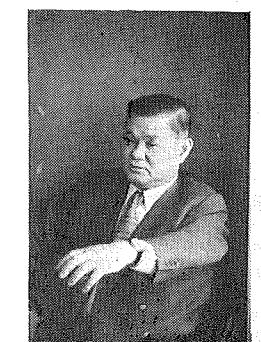
当然ローカル相場があつてよいと思うの

ですがね。この間、野菜のことを耳にし

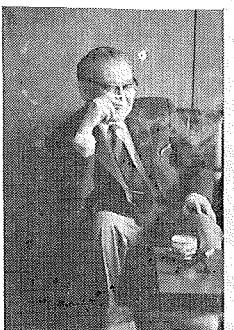
たのですが、東京より岡山のほうが高い

のですね。

藏知・大消費地に集つてしまい生産地



大宮嘉造氏



大宮登志男氏

岡山は更に何円落ちといふあいに安い

基準で決められてしまいます。ところが

生産県である岡山県でも時期によつては

卵が不足する時があります。その時でも

安い東京相場に右へならえするのですね。

当然ローカル相場があつてよいと思うの

ですがね。この間、野菜のことを耳にし

たのですが、東京より岡山のほうが高い

のですね。

藏知・大消費地に集つてしまい生産地

小野・見よさそうにみえますが、そ

の決め方が、別にセリをするでもなし、

カンペーれば、一部の人の思惑によつて左

右されているのではないかと思われるふ

しがあります。

大宮・株の玄人操作みたいな感があり

ますね。

大宮・株の玄人操作みたいな感があり

ますね。

岡山は更に何円落ちといふあいに安い

基準で決められてしまいます。ところが

生産県である岡山県でも時期によつては

卵が不足する時があります。その時でも

安い東京相場に右へならえするのですね。

当然ローカル相場があつてよいと思うの

ですがね。この間、野菜のことを耳にし

たのですが、東京より岡山のほうが高い

のですね。

藏知・大消費地に集つてしまい生産地

藏知・日本列島改造がブームですが、

畜産の再配値も起きていますね。岡山県

の過疎地だけです。今ままでの価格形

式だとたして一〇〇%自給

しますね。

小野・鶏卵は自給率一〇〇%となつて

いますが、鶏も現在はへりつあるもの

であります。現実に、乳牛など減つてき

ます。ふえているのは東北、北陸、南九州

です。ふえているのは東北、北陸、南九州

が山地などを買って入ろうとするや

であります。現実に、乳牛など減つてき

ます。ふえているのは東北、北陸、南九州

です。ふえているのは東北、北陸、南九州

が空っぽになつて、物によつては逆流し

ているらしいですね。

大宮・土地の制約は畜産の場合きびし

いですね。一般的に状況をみていると、

大企業に土地を売る場合、そこから出

る廃棄物にはあまり関心をもたずに出

しておきましたが、そうでもないですか。

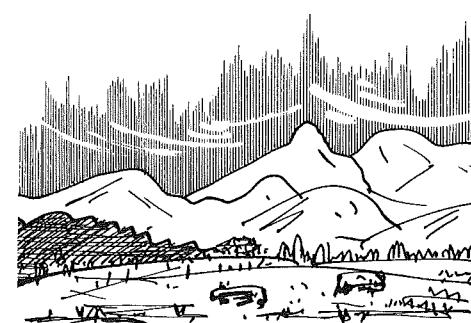
入れがないとダメでしょうね。

大宮・土地が、現実に、牛がふえるもの

であります。現実に、乳牛など減つてき

ます。ふえているのは東北、北陸、南九州

です。ふえているのは東北、北陸、南九州



倉敷近辺で盛んですね。やはり経済的条件のよい所は、何んらかの有利な条件があるのでしょうか。しかしここらの公害問題は大変ですよ。また最近は乳質改善のためにバルククーラーなど導入されておりますが、これは良いとしても、公害対策とあわせると大変な投資になり、果して成り立つのでしょうか。(笑)。頭程度の人は止めてしまうでしょう。

小野・・養鶏でももううるさいから止めようという方がありますよ(笑)。それに鶏は、生体処理の汚水問題があります。大宮・・牛、豚はと場法によって、と場で完全処理されますからね。小野・・鶏は処理する者がおればどこでも処理できますからね。

藏知・・糞尿処理問題は完全な決め手となるものはありませんね。問題を突き進めてゆくと行政機関も逃げの一手中で、解決策をもっておりません。

大宮・・國や県は優秀な人材と施設をもつてゐるのですから、先行投資してこういったものこそ十分研究してもらいたいものです。

それからもう一つ大切なことがあります。県下にも農業団体が数多くあります

が、畜産の団体で一番活動しているのは酪農関係のようです。またその中でも地域の組合によつて差があるようですね。そこで大切なのは、三・四人のリーダー的な人が、いかに教多く組合員の中に入り対話をするかです。公害問題など一人

で悩んでいる不安でたまらないはずであります。やはりグループで話し合い、リーダー的な人は不安解消の努力をしなければなりません。もうけないと団体活動はできません。もうけないと団体活動は

ストップしてしまいます。卵はどこへで売れるのですからね。

大宮・・牛乳は我々メーカーのところで包装しなければなりませんが、卵は鶏のお尻から出た時に、すでに殻で包まれておりますからね(笑)。それでも全国的に

で悩んでいると不安でたまらないはずであります。やはりグループで話し合い、リーダー的な人は不安解消の努力をしなければなりません。養鶏専門農協の場合はある程度員外利用を認めてもらわないと、健全な経済活動ができません。もうけないと団体活動は

できません。もうけないと団体活動は

## 技術の確立を

場長 石井敏雄



謹みて新年の御祝詞を申し上げま

す。牛の年にもなんで白黒牛の酪農試験場を代表しまして御挨拶いたしま

す。畜産部門のなかでも高い所得率は酪農經營だと言われていますが經營分析をしてみますと三〇・六〇%で千差万別です。最近第一次産業から第二次、第三次産業へと農外収入を求めてゆく人が多く見受けられるようになり、またあっさり酪農部門を手放なす農家があります。

豚ふん、牛ふんにつきましては焼却及び乾燥等も計画しています。

次に臭気につきましては、畜舎内或は自然流下式によるふん・尿の混合物を土地に還元したときの臭気が問題になりますので、脱臭方法を検討中です。また大量のふん・尿の混合物を土地に還元したさい窒素量の問題が起きますので、脱臭方法についても検討中です。

規模が拡大されると成牛全頭から後継牛を求めることが珍らしいことで、後継牛を必要としない牛にはシヤローレー種の雄を交配して、生産されたF<sub>1</sub>について体重五〇・六〇〇kgを目標に肥育試験を行い、乳用雄子牛と比較し成肉性、経済性について試験を行っています。

飼料作物につきましては新飼料作物としましてはグレインソルガムを使用します。研究の目的はグレインソルガムの品種及び生育ステージの違いがサイレージの品質において影響を検討するわけです。

次に規模拡大をするとサイレージの調製時の労働配分を考慮する必要がります。材料草はイタリアンライグラスを利用し、コンパクトベーラ

ーで梱包し、スタッカサイロを一基調製し再貯蔵は一基をスタッカサイロ、他の一基をタワーサイロに貯蔵し、利用を行ない、再貯蔵利用方法について検討するわけです。

最近普及されていますソルガム類のサイレージの栄養価の試験ですが、水田二年生地帯におけるソルガム類のサイレージ通年給与体系を確立するため、栄養価の変動が大きく、また多くの新品種、新系統が導入されているソルガム類サイレージの栄養価を策定することで、本年度刈取回数を異にするサイレージについてその品質調査と搾乳牛六頭を用い消化試験および泌乳試験を行っています。

また多頭飼育する場合、乳用雌子牛の育成は扶養家族が増加したと同様に労力をさかることになるので集団育成がなされていますが、屋外集団育成方式においてはハイブリッドソルゴーについて生育期、清浄豚作出現地実証試験を行っています。

従来九〇kgの体重に達するまでの日数は一八〇日位要していますが、清浄豚におきましては一二〇日を要し六〇日間の短縮となり、飼料要求率も三・〇を割ることになります。

しかしこれでは肉質が悪いので、肥育用飼料の制限給餌による肉質改善を研究する必要があります。

皆さまの御多幸をお祈りします。

経済企画庁の言を借りますと一九七〇年代の後半においては農業所得は三〇〇万円ということあります。

では、この所得を求めようとするために制約された土地基盤と労力の上にたって考えてみると、規模拡大ということは自ずと限界のある農家が多いと思われます。最近の傾向は規模拡大のできる農家が足ぶみをしている向もあって、このような農家はふん尿の処置が問題になっているようです。

規模拡大の段階における技術体型とか畜産公害対策、そしてゆくゆくは牛乳中の無脂固形物等のことが問題となることでしょう。

畜産部門のなかでも高い所得率は考えられます。夫々の規模においての技術及び経営能力は自ずと異っていると思われるのです。

数頭の技術を得て、その技術をさらに省力化して規模拡大をして所得を求めるようとする障壁にあたって酪農が楽農でなく苦農になってくると考えてもよいでしょう。

成牛一頭当たり年間管理労働時間も最近では省力化されて二〇〇時間、飼料作業延べ一〇a当たり栽培労働時間三〇時間とあります。低カロリー低蛋白質では三分の一が妊娠していますが、低カロリー高蛋白質では一〇〇%が繁殖障害にかかります。

A牛は栄養率が七・五必要であるのに頭から漸次増加して一五頭程度、そして次の段階は三〇頭以上と少くとも三段階分析をしてみますと三〇・六〇%で千差万別です。

最近第一次産業から第二次、第三次産業へと農外収入を求めてゆく人が多く見受けられるようになります。夫々の規模においての技術及び経営能力は自ずと異っていると思われるのです。

畜産部門を手放なす農家があります。

畜産部門を手放なす農家は酪農をやつてはレジャーの時間がない

次に臭気につきましては、畜舎内或は自然流下式によるふん・尿の混

合物を土地に還元したときの臭気が問題になりますので、脱臭方法を検討中です。また大量のふん・尿の混

合物を土地に還元したさい窒素量の問題が起きますので、脱臭方法についても検討中です。

規模が拡大されると成牛全頭から後継牛を求めることが珍らしいことで、後継牛を必要としない牛にはシヤローレー種の雄を交配して、生産されたF<sub>1</sub>について体重五〇・六〇〇kgを目標に肥育試験を行い、乳用雄子牛と比較し成肉性、経済性について試験を行っています。

また多頭飼育する場合、乳用雌子牛の育成は扶養家族が増加したと同様に労力をさかることになるので集団育成がなされていますが、屋外集団育成方式においてはハイブリッドソルゴーについて生育期、清浄豚作出現地実証試験を行っています。

従来九〇kgの体重に達するまでの日数は一八〇日位要していますが、清浄豚におきましては一二〇日を要し六〇日間の短縮となり、飼料要求率も三・〇を割ることになります。

しかしこれでは肉質が悪いので、肥育用飼料の制限給餌による肉質改善を研究する必要があります。

皆さまの御多幸をお祈りします。

牛は受胎率が悪い、ひいては精液が、または人工授精技術が悪いのではないかとよく聞かされます。

県下の受胎までに要した授精回数は一

回の土地基盤で家族労力二・五人、

牛三頭で年間農業所得二〇〇万円以上を要し、牛の更新も多く、耐用年数も短縮されています。

ある酪農家へ行ってみると息子が酪農農家へ行つてみると息子が酪農農家は殆んど牛の個体別の栄養率を考えていません。

A牛は栄養率が七・五必要であるのに對して八・五になつておつたり、DCPを必要量以上に与えてTDNが必要量以下になつて所謂栄養の不均衡が認められます。

次に規模拡大の段階での技術指標が当

然必要になつてくるわけです。

酪農試験場では総合技術組立試験とし

て暖地水田二毛作における酪農技術の体

系化に関する研究を前場長時代から行なつています。この研究は水田一・五ヘクタールの作成です。これは成牛三〇頭、

煙四・二ヘクタールの規模で技術組立試験を来年度から開始する予定です。

規模拡大でさらに問題になること

は家畜のふん尿、汚水、臭氣等の公害関係で、牛のふん尿については自

然流下式乳牛ふん尿の大量土地還元による飼料作物、牧草の栽培法ならびに利用法の確立でしょう。

米国での実験例があります。

栄養価につきましては畜産会発行の「乳牛の飼料給与基準例とその利用の仕方」を再読されると理解されることでしょう。

次に規模拡大の段階での技術指標が当

然必要になつてくるわけです。

酪農試験場では総合技術組立試験とし

て暖地水田二毛作における酪農技術の体

系化に関する研究を前場長時代から行なつています。この研究は水田一・五ヘクタールの作成です。これは成牛三〇頭、

煙四・二ヘクタールの規模で技術組立試験を来年度から開始する予定です。

規模拡大でさらに問題になること

は家畜のふん尿、汚水、臭氣等の公

害関係で、牛のふん尿については自

然流下式乳牛ふん尿の大量土地還元による飼料作物、牧草の栽培法ならびに利用法の確立でしょう。

この試験内容は次の四項目に大別され行つています。

1. 自然流下式における牛ふん尿混合物の成分調査

2. 熟烟における牛ふん尿混合物の大量施用試験

3. 牛ふん尿大量施用作物の成分調査

4. 牛ふん尿大量施用作物の貯藏試験

尿、污水については活性汚泥法によ

る豚ふん尿、污水の浄化能調査を行なっていますが、なかなか普及の段階に至るにはさらに検討する必要

があります。

従来九〇kgの体重に達するまでの日数は一八〇日位要していますが、清浄豚作出現地実証試験を行なっています。

P.F.豚の実用化に関することや、豚疾患(流行性肺炎、萎縮性鼻炎、トキソプラズマ病、豚赤痢など)の浸潤による養豚の生産性の低下は看過できない現状に達しているので、S

4. 牛ふん尿大量施用作物の成分調査

尿、污水については活性汚泥法によ

る豚ふん尿、污水の浄化能調査を行なっていますが、なかなか普及の段階に至るにはさらに検討する必要

があります。

従来九〇kgの体重に達するまでの日数は一八〇日位要していますが、清浄豚作出現地実証試験を行なっています。

P.F.豚の実用化に関することや、豚疾患(流行性肺炎、萎縮性鼻炎、トキソプラズマ病、豚赤痢など)の浸潤による養豚の生産性の低下は看過

できません。

皆さまの御多幸をお祈りします。

**NIPPON ZENYAKU**

**養鶏・畜産害虫防除の万能殺虫剤**

# フライホン

水溶性粉末殺虫剤

**NIPPON ZENYAKU**

## 和牛に想う

場長 宇野 仁



新年を迎えておめでとう存じます。

私は今年で五〇数回の新年を迎えのですが、その度に何か晴々とした気持ちになり、さて、今年はと仕事のことや家庭のことなど人並に見て見るのであります。

私は今年で五〇数回の新年を迎えるのですが、その度に何か晴々とした気持ちになり、さて、今年はと仕事のことや家庭のことなど人並に見て見るのであります。

なされてまいり、今まで力不足が感じられた肉牛に対する政策や技術の対策もようやく軌道にのりつつあります。これから先、第一次産業的な苦難の道はあるにしても肉牛界にとって明るい兆しがしてきたこと思います。

一面生産者も肉牛の多頭化、専業化を目指して経営規模を拡大し經營の安定に志すものが増加しつつあります。これ等に対応して農協等の生産者団体の力の入れようも活発になり、これまで先、第一次産業的な苦難の道はあるにしても肉牛界にとって明るい兆しがしてきたこと思います。

とは言うもののまだ役肉用牛と言ふ時代の飼育型体或は、流通の上に立って改良がなされ、組織化され、研究されている点がいくらも感じられるのですが、このことは、數百年の間役肉用牛としての流れをも和牛としては当然のことであると思いませんが、すでに日本の肉の専用種としてその数も全頭数の九〇数%を占める和牛であって見れば、早く日本人好みの優秀な肉が飼料効率よく生産できる牛で、経営的にも合理性のある真の肉用牛として改良しなければならないでしょう。

また、生産から肥育そして食肉市場へと流れる流通の段階も常に研究され改良される必要があると思います。しかしながら、肉

りますが、馬の場合は軍馬、農耕用及び運搬用として飼育されたもので、中でも軍馬にしては、絶対的なものがあったのです。それが終戦と同時に不要となり運搬・農耕用共に年々その必要性がなくなつたのですから減少するのも当然考えらることなのです。

ところで和牛の場合農耕用としてはなるほど利用性はなくなつたのですが、その反面、肉用としてはますます重要性を増しており増大する需要に応じきれない現状であります。

その肉の需要状況を見ますと、昭和三十年、つまり和牛がまだ役肉用牛として飼育されていた頃の全国の肉の消費量は二六万トンで、内牛肉は一三万トン、全体の四八%であります。その他豚肉八・二万トンで三一%、鶏肉三・三万トンで一三%となり、消費量の約半分は牛肉即ち和牛の肉であります。ところが昭和四十四年（一寸旧い統計で失礼）には総畜産一筋に過してまいりました。今関係しております和牛も農機具の発達により農耕用としての価値がなくなつてからは、年々減少して一時一〇万頭以上も飼育されておりましたが、今では六万頭と減少してまいりました。

私の仕事と言つても過去三〇年の間畜産一筋に過してまいりました。今関係も大きく変りました。今関係しております和牛も農機具の発達により農耕用としての価値がなくなつてからは、年々減少して一時一〇万頭以上も飼育されておりましたが、今では六万頭と減少してまいりました。

消費量一三八万トンと昭和三十年の約五万トンで全体の四〇%、鶏肉四二万トンで全体の三〇%と著しく増加してまいりました。このように、牛肉は五五万トンと増加しましたが、豚肉は五五万トンで全体の四〇%、鶏肉四二万トンで全体の三〇%と著しく増加してまいりました。

が将来の主食などと言われ、役肉用牛が専用の肉用種として方向付られてまだ十分に増大したのです。そして牛肉も二三万トンと増加しましたが、豚肉は五五万トンで全体の四〇%、鶏肉四二万トンで全体の三〇%と著しく増加してまいりました。

更に牛肉二三万トンの内容を見ますと、その内の約半数は乳用牛となっておりました。

その今後の技術的な課題を私なりに要約してみますと、

- 1、専業の肉用牛生産農家の経営の確立を図ることから集団管理技術を究明し、経営を合理化すること。
- 2、和牛の産肉性を高めると共に肉質のよい優秀な肉用牛として改良すること。
- 3、多頭化による集団飼育の問題となる課題を研究確立すること。

このことは最近多頭化が進むにつれて出てきた新しい問題だけに緊急を要する課題であります。

このことは、従来からも言ってきたことがあります。反面、我国の牛肉の需要は年々激しく増大してゆく、これにかかわらず、牛の生産も少くなかつたこと、また飼育の規模も農家一戸当たり平均しますと、牛、今後も更に大きく人類に貢献するように対応して行くのか、牛の歩のようにおそくとも力強く運びたるものであります。



**SQUIBB** 増体と肉質の改善にすばらしく効く  
天然ホルモン肥育剤(耳根皮下移植剤)  
**シバベックス**

S(去勢牛用)一黄色ベレット  
H(雌牛用)一白色ベレット

輸入元 日本スクワイブ株式会社 発売元 昭和薬品化工株式会社  
東京都港区赤坂3丁目2番6号(赤坂中央ビル) 東京都中央区宝町1-5(味の素第一新館)

すから、優良な和牛の肉がその需要に応じない現状で、最近和牛の枝肉が非常な高値を呼んでいるのもこの為です。将来、更に肉の需要は増加するとされておりますが、経済企画庁の昭和六十年における全国の肉の総需要量は約三六〇万トン、内牛肉は九六万トンと予想しておりますから実に驚くべき消費量であり、点から、更には家族の一員であるといふべき消費量であります。

このような問題を背景に全国的に肉用牛対策が緊急を要す課題としてやかましくなり、政策上から、または試験研究機関も総力をあげて肉用牛の増産に取り組んでいる現状であります。

従来和牛は、役肉用牛として飼育されてきたのですが、どうも肉としてよりも役用としての目的の方が強かつたようあります。言わば肉の利用面は役畜として活用した後の副産物であった感が深いままであります。肉としては不適当とされていましたが、土地の条件でやむなく飼育された地方も少なくなかつたこと、また飼育の規模も農家一戸当たり平均しますと、牛は肉用牛の価格安定対策、飼育管理に対する助成まであらゆる面の措置が行なわれるようになりました。また牛を飼育して子牛を生産するいわゆる牛の連繋を保ちながら組織的な運営が

ここに至つて最近では、国・県・市町村とその行政の規模に適応した施策が実施されて、外国の肉用種の導入による日本での適応性の研究

言えましょう。このような中で比較的原野に恵れた中国地方の山間部で数頭の雌牛を飼育して子牛を生産するいわゆる牛の連繋を保ちながら組織的な運営が

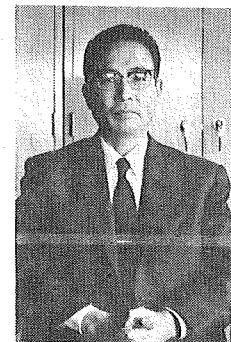
すから、優良な和牛の肉がその需要に応じない現状で、最近和牛の枝肉が非常な高値を呼んでいるのもこの為です。将来、更に肉の需要は増加するとされまして、多くの障害もなく極めて自然的に地帯へと移動し、こうして幾百年の間にわたって使役地帯では農具と言ふ観察思想もあり、あまり利潤の追求をしなかつたことも和牛の一つの特徴であったのでしょうか。

このような和牛もここ一〇数年の間に専用の肉用牛として生れ変わったのですが、どうも肉としてよりも役用としての目的の方が強かつたようあります。言わば肉の利用面は役畜として活用した後の副産物であった感が深いままであります。肉としては不適當とされていましたが、土地の条件でやむなく飼育された地方も少なくなかつたこと、また飼育の規模も農家一戸当たり平均しますと、牛は肉用牛の価格安定対策、飼育管理に対する助成まであらゆる面の措置が行なわれるようになりました。また牛を飼育して子牛を生産するいわゆる牛の連繋を保ちながら組織的な運営が

## 養鶏試験場

### 年頭所感

川崎晃



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

これ一重に皆様方の絶大なる御指導、御高配の賜と深く感謝いたしております。完成後は、四十八年度より成鶏年間平均羽数七、五〇〇羽（従来四、二〇〇羽）ブロイラー三、〇〇〇羽の飼養規模で事務を推進します。

さて、岡山県の養鶏は採卵鶏では六三八万八千羽で全国六位、ブロイラーでは一八六万四千羽で全国十位であり、養鶏十一年に三軒屋より移転し、十六年、間にわたり業務を進めてきましたが、生産額一〇一二億八千万円の一五、四%平田の地に岡山県立総合福祉センタが建設されるに当たり当場の移転整備が決まり、御津郡御津町伊田の地に昭和四十五年度より工事を進め、第一期工事終了の後四十七年四月に移転しました。引続いて第二期工事を実施してきましたが、本年一月に完了の予定であります。

工事完了後、本年三月には移転整備の落成および岡山県が種畜場において養鶏業務を開始して以来五〇年を記念しての行事を開催する計画であります。

しかし、単にこの数字的表現に満足することなく、養鶏業として実質的な純利益を高めることが肝要であります。また、養鶏産業はワールド・エンタープライズの中においての産業として進められるべきで、多くの問題が存在しております。しかし、岡山県、日本という範囲での視野に立って推進することが大切であります。

生物をつくる二大要因はその遺伝的素質と環境であり、高等動物になるほど、環境から多くの影響を受け入れる可塑性があるといわれています。さらに、人の全人格は先天的な遺伝、後天的な生活環境、および教育の三者の影響によって定まるとしており、環境の影響の大きさが示されています。このように環境の影響の大きいことが示されています。鶏も高等動物としてこの範疇からもれることなく環境の影響を大きく受けます。これらのことから、さらに生産的性能の向上に改善すなわち、開放鶏舎での換気を主体とした環境改善および、ウインドウレス鶏舎の普及に伴なっての管理環境改善の課題として認識されています。

この研究に関連の施設は、部分技術解説、装置、備品などの整備が不十分のため実験が困難であります。しかし、幸運的に当場では関係者の方々の御理解、御協力をして、主導的役割を果たすが、生熊学的な面よりの探究すな

ったが、この指定に際しての試験研究課題は前記の管理環境改善の課題であります。この研究課題は養鶏関係者が重要視し試験研究の必要性を感じているとともに、農林省としても全国的視点からみて重要な研究課題として認めたものであります。

試験研究の推進に当たっては、兵庫、広島、山口県の各養鶏関係試験研究機関との共同研究で実施し、当場が中核機関として主導的役割を果たすのであります。ひるがえって考えてみますと、鶏の試験研究において、育種改良、飼養、管理衛生、環境汚染防止などについてはそれ進められておりま

すが、生熊学的な面よりの探究すな

らに、人の全人格は先天的な遺伝、後天的な生活環境、および教育の三者の影響によって定まるとしており、環境の影響の大きさが示されています。このように環境の影響の大きいことが示されています。鶏も高等動物としてこの範疇からもれることなく環境の影響を大きく受けます。これらのことから、さらに生産的性能の向上に改善すなわち、開放鶏舎での換気を主体とした環境改善および、ウインドウレス鶏舎の普及に伴なっての管理環境改善の課題として認識されています。

この研究に関連の施設は、部分技術解説、装置、備品などの整備が不十分のため実験が困難であります。しかし、幸運的に当場では関係者の方々の御理解、御協力をして、主導的役割を果たすが、生熊学的な面よりの探究すな



牛の健康、  
緑の牧草は  
タンカルで良い草を！

効めの早い タンカル肥料  
持続性のある 土改1号、2号

足立石灰工業株式会社

岡山県新見市足立 TEL(086738)代表番

周囲を小高い緑の山々に囲まれ、北に

ましよう。

これらの観点より、養鶏関係者、養鶏なりますが、數的な表現により異

に意外に小さいのであり、環境の影響の大きさが根本的には重

いります。このことは、経済的形質の発揮し、養鶏経営の改善に最善の努力を傾注すべきであります。

養鶏試験場は新設の場において、皆様の御意見を拝聴しながら養鶏産業に役立つ試験研究の推進に場員一致し懸命の努力をする所存であります。

以上二つのことから、養鶏試験場としては、岡山県養鶏産業が経営を改善し安定した産業として進むために、大いに役立つべく遺伝的、環境（広、狹義）的両面において試験研究を強力に推進します。

試験研究調査は遺伝的な面として、は、採卵鶏の育種改良を重点として、環境から多くの影響を受け入れる可塑性（広、狹義）的両面において試験研究を強力に推進します。

この管理環境改善は「採卵鶏の多

度の増加に伴なって環境の良否の影響は著しく増大しているのであります。鶏の経済的形質の発現は遺伝力と環境の両者の相互作用によりますが、鶏の経

## 雪印のたねで飼料増産対策を

### ◎ソルゴーの選定は

青刈、多回刈用に……………スイートソルゴー

青刈、サイレージ用に……………フォーレージャーハイブリットソルゴー(新発売)

サイレージ用に……………雪印ハイブリットソルゴー

### ◎真夏に強く、機械化で連続刈取できる

ローズグラス、カラードギニアグラス、グリーンパニック、ブルーパニック

### ◎青刈、サイレージ用に安定した収量を得る

晚生種……………ホワイトデントコーン、交1号

早生種……………エローデントコーン、交3号



## 雪印種苗株式会社

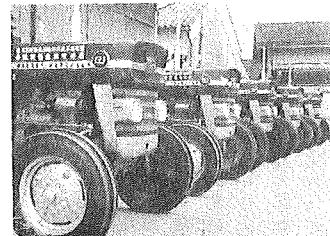
本社 札幌市豊平区美園2条1丁目 電話 札幌 代表831-1161番 〒062  
岡山支店 岡山市巣敷丸山1482-1 電話 岡山 52-0395番 〒700

“草をつくる”



## ファーガソン トラクター

傾斜地での安定性は



岡山県酪試 酪農大学 上齊原村  
奥津町 旭東畜産公社 美星町  
矢掛町 布東酪農組合

等での実績をご参照下さい

## 販売元 東急自動車株式会社

岡山出張所

電話 岡山(0862)53-0277(代表)

〒700 岡山市高柳31番地の1

## みんなで、つくりあげた おかやまの

### 新くみあい配合飼料

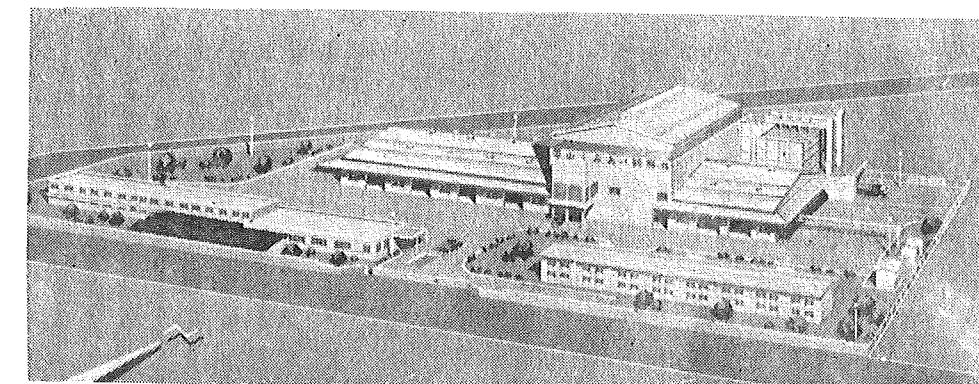
乳牛用 デーリー6 (NR.6)

肉牛用 ハイミート650 (肉牛全期)

肉豚用 ストレートン3-9 (肉豚30K以上  
ペレット)



### 地元の新鋭工場



工場所在地 岡山県倉敷市水島海岸通り3-6

## 農協・経済連・全購連 岡山くみあい飼料株式会社

TEL 倉敷局 (0864) 44-9171

大阪だより  
石原和夫

奥さまのかい物

表 1 食品別購入先購買行動（神戸市）

店種 食品	小売市場	一般商店	スーパー	生協店	デパート	その他	無回答
野菜果物	① 1,236 59.8%	② 398 19.3	④ 181 8.8	③ 186 9.0	⑥ 7 0.3	⑤ 30 1.4	30 1.4
鮮魚	① 1,389 67.2	② 417 20.1	③ 101 4.9	④ 73 3.5	⑥ 6 0.3	⑤ 43 2.1	39 1.9
食肉	① 961 45.6	② 528 25.5	③ 291 14.1	④ 222 10.7	⑤ 12 0.5	⑥ 7 0.3	35 1.7
瓶缶詰 包装食品	① 195 9.4	③ 258 12.5	① 1,018 49.2	② 447 21.6	⑤ 73 3.5	⑥ 8 0.5	69 3.3
総合	3,781 17.5	1,601 19.4	1,591 19.2	928 11.2	110 1.3	88 1.1	173 2.1

注:①~⑥順位 上段=回答件数 下段=100分比

在住の順位	上段=四回計数 参考(名古屋市)	下段=100 分比
小売市場を利用している	46.5%	
スーパーマーケット	21.8	名古屋市は全地域のモニター 199 人
小売店	20.5	から回答 回答率 87.4%
行商人	11.2	

表 2 食品別購入先選定理由（神戸市）

理由 食品	品質が よ	近いから	品物が 豊富	値段が 安い	なんどく	サービス がよい	無回答
野菜果物	② 54.8 26.5%	① 723 35.0	③ 436 21.1	④ 217 10.5	⑤ 69 3.3	⑩ 32 1.6	43 2.0
鮮魚	① 924 44.7	② 593 28.6	③ 307 14.9	④ 111 5.4	⑤ 52 2.5	⑪ 20 1.0	61 2.9
食肉	① 778 37.6	② 604 29.2	④ 238 11.5	③ 284 13.8	⑤ 68 3.3	⑬ 44 2.1	52 2.5
瓶缶詰 包装食品	④ 138 6.7	③ 187 9.0	② 549 26.6	① 903 43.7	⑥ 98 4.7	⑭ 84 4.0	109 5.3
総合	2,388 229	2,107 255	1,530 185	1,515 183	287 35	180 22	265 31

注…表1に同じ		
参考 (名古屋市)		
小売市場を利用する理由	①品物が新鮮 ②値段が安い ③品物が新鮮 ④品物が新鮮	②近くで便利 ②品物が新鮮 ②値段が安い ②品物が新鮮
スーパー・マーケットを	ク	ク
小売店を	ク	ク
行商舗を	ク	ク

るもののが九・八%あったが、お客様の大半（四七・八%）はその場で品物と値段をみて決めるようであった。消費者は生鮮食品を購入するとき、何を重点においているかをみると、何れの品目ににおいても鮮度を第一にあげている。ついで値段であるが、六九%の者が常に食料品の値動きには関心をもつていて、新聞などの価格情報や市が発行する標準価格を基準に判断しているもの、他店や前日の値段を比べているものが多いことに感服した。また天候不順などで食料品が一時的に値上がりしたときは、品目を変えるか、量目を減らすなど苦労のあとがみられる。消費者の声は厳しく①産地直売制を増やすこと②小売店にも標準小売価格を掲示す

として取扱われてきた長い歴史からもうかがわれる。) 一般商店一三%、小売市場九%と低い。しかし生鮮食品では一%にも達しなかつたデパートが四%と僅かに優位に立っている。年令別にはスーパーの安いことに魅力を感じ、若いものほど利用が高く、五十代は生協店と一般店を利用しているのが目立った。

所得水準の上昇に伴ない、市民の消費生活に対する欲求、それにもとづく商品の購買行動は、ますます多様、高級化してきている。現実に食欲の秋、味覚の秋の店頭には、シンンを迎えた山の幸、海の幸が山ほど並べられているが、消費者はおなじみのサツマイモ、ナシ、サバには目もくれず、季節感のなくなったマスカット、スタークリング、冷凍魚が人気のようである。

市場関係者も①所得の向上に伴う高級品の嗜好②食品料理の豊かな情報から食品の多様化が生れたこと③戦後の核家族化の波が家庭の台所まで波及して、主婦が調整に時間と労力をかけたがらなくなつたこと④冷凍庫、電子レンジの普及で従来の料理感が変つたこと⑤暖冷房の完備による生活様式の洋風化が食品にまで波及したことなどで消費者が要求する生鮮食料品は大きく変ってきた。

に代つて、かつて高級魚といわれたカニエビ、マグロの冷凍物が良く売れている。結果ではマスカット、ふじが巾をきかせデリシャスなどは大衆クラスにダウンした。一方野菜もおふくろの味といったゴボウ、イモはヤング層に敬遠され、レタス、アスパラ、ピーマンなどの洋野菜がよく買われている。これに加えて市内から周辺へと人口分布が移動し、これに伴つて生鮮食料品に対する消費者の購買行動も変ってきた。

このとき、神戸市が全域から二千五百人（回収率八一、一%）の消費者を抽出して調査した購買行動をみると、まず市民がどのような店舗で購入しているか、またその選んだ理由は、野菜果物では、購入先は小売店が六割を占め他を押している。一般商店が二割、生協、スーパーがそれぞれ約一割である。これらの店を選んだ理由は「近いから」が約三分の一を占め、「品質がよい」が二七%「品物が豊富」が二一%で、「値が安い」は一が強過ぎなかつた。年令別購買行動は

「品質がよい」「近い」とが高く、ついで「品物が豊富」「安い」であり、商店の最も基本的提供物である「サービス」が何れの場合も最下位にあるのは、その語義と内容のあいまいさから止むを得ないといわれていた。

支出し階層別にみると、高額支出層ほど大  
売市場をよく利用し、低支出層ほど一般  
商店を愛顧している。理由は高支出層ほど  
品質本位で遠い店へも出かけ、また安  
さを必ずしも求めていないようである。  
鮮魚については、小売市場の利用が半  
倒的に多く三分の一を占め、一般商店の  
五分の一を合せると約九割がこれであつて  
られている。鮮魚は他の食品と比べ、品  
質本位で選ぶ傾向が強く四五%、ついで四  
分の一、「安い」二九%、「品物が多い」が一五  
%、「安い」は僅かに五%であった。こ  
れを年層別にみると、年令が高まるにつ  
れて、小売市場の利用が増え、品質より  
も安いものを買う傾向が強い。三十年代は  
スーパーの利用が多い。支出階層別では  
高支出層ほど品質と豊富さを指向し、近  
い便利さにはこだわっていないようであ  
る。

順位 品目	1位	2位	3位	4位
野 菜	鮮 度	值 段	形・色	産 地 銘
果 実	鮮 度	值 段	産 地 銘	形・色
鮮 魚	鮮 度	值 段	形・色	産 地 銘
食 肉	鮮 度	值 段	形・色	産 地 銘
卵	鮮 度	值 段	形・色	産 地 銘

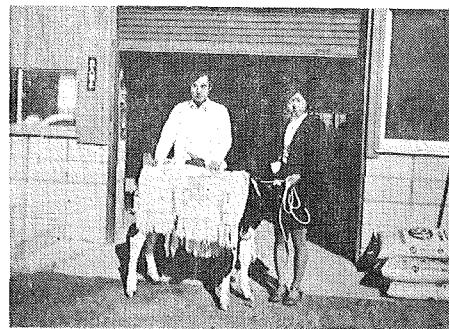
農林省も生鮮食料品などの価格、流通構改革と施策を考え、第一歩として食品流通局を新設した。全農も大阪生鮮食品の上昇率を抑制するため、生産と消費の将来を展望した流通改善に全力投球しているが、消費者は、有害食用品、危険商品の増加、消費者物価の上昇も安全性と物価問題は消費者にとって最も切実な問題であるため、生産にたずさわる関係の方々にも知つて頂くことから消費動向の一端としてあげたものです。

高く、スーパーの好きなのは若い層にないほど多くなっている。これらの店を選ぶ理由は、年令による傾向はみられないが、若い層は安いことより品質を、逆に重視している。年令別にみると五十年代は市場の利用が特に高く、一般食肉店は四十～五十代から愛顧され、スーパーは

シップは品質で、鮮魚の場合について最も重視されている。年令別にみると五十年代は市場の利用が特に高く、一般食肉店は四十～五十代から愛顧され、スーパーは

## 酪農家に若いカップル誕生

会長 牧野 勉



共に若い二人

会員の皆様、あけましておめでとうございます。新春早々まことにおめでたい記事を皆様に披露することにいたしました。師走の季節とは思われぬうらかな小春日和の、去る十二月六日、ハーベストアのそびえ立つ吉備の高原、賀陽の町に希望と夢をいだいた若い後継者をもつ竹並牧場には、一足早く春がおとづれたの

でした。

酪農による規模拡大に必要なのは若い後継者と内助のお嫁さん、この二つをマスターされた竹並牧場は酪農歴はまだ浅いが、父竹並堅氏は賀陽町々政に長く、特に賀陽町の農業振興に貢献され、いち早く地区民の総意により農業構造改善事業を取り組み、土地基盤の整備と余剰労力対策として酪農経営の拡大を計画され、海拔四〇〇メートルの吉備高原に水田一・五ヘクタールと三・五ヘクタールの草地、そしてその中央に自然流下式牛舎、尿灌施設等、全ての施設を完備され、現在約二〇頭を飼養されております（将来目標五〇頭）。

こうした拡大計画に新郎清君（二十四才）は、賀陽高校卒業後酪農の基礎知識を身に付けながら、親子力をあわせて酪農の基盤造りに専念され、地区においては優秀な後継者として、酪農後継者グループである「賀陽町酪農育成会」のリーダーとして会長をつとめておられます。眞に立派な農業後継者を得た竹並牧場の

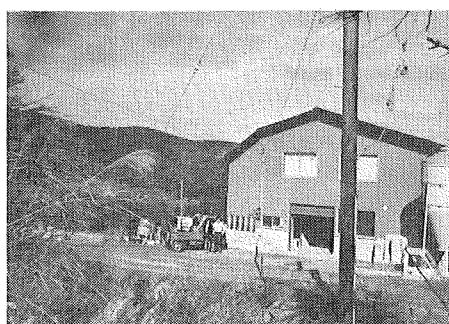
前途は明るく、希望と夢にもえておりま

す。  
新婦美枝子（二十二才）さんの実家岡田家は、岡山市中尾（ブドー）の产地として知られたところで、山陽本線、国道二号線、山陽新幹線等交通、文化の発展の地です。果樹、水稻、自動車整備の三種兼業農家岡田家の長女として山陽高女、岡山女子短大と進まれ、特に同短大在学中には親友と共に女性二人で南朝鮮の産業、民情視察もされるなど、早くから酪農に希望と夢をいだかれ、その根性と決断力は他に得難い女性である。

こうした酪農ファン岡田美枝子嬢は、たまたま同地区の酪農家八木氏と共に昨年三月、私宅の酪農視察にまいられ「美枝子さんは将来酪農家に希望と夢をいだ

かれていた女性である」とことを紹介され、私は、即座に「岡山県一の優秀な酪農家である」と診断、紹介されて以来、竹並牧場で研修にいかれ、酪農家の主婦自から進んで主婦酪農で名高い鏡野町の浦山牧場に研修にいかれ、酪農家の主婦としての勉強をしかと身につけられるところ、眞に竹並牧場にとられてはあたかも太陽の如き存在かとも思います。

こうした若いカップルの誕生は、ご両家の温かいご理解により今日を迎えた次第なのであります。



牛舎

新郎清君はコンサル会員でもあり、がて若い二人揃っての研究会への出席もあるものと思います。会員皆様の温かい指導と激励を心からお願い申上げますと共に、竹並牧場の限りなきご発展と若いカップルのご多幸を、新春に当りお祈り申上げます。

## 農業共済連のページ

### 多頭飼育農家に対する

家畜共済制度の問題点について

家畜課長 井上 眥

新春を迎え、謹んで御祝詞を申し上げます。

農業災害補償法が施行されてから二六年を経過しましたが、その間、畜産經營の体質は誠に大きく転換し、特に最近では国民所得の上昇に伴ない食生活の高度化が進み、畜産物の需要が急激に増加してまいりました。この需要の増大に伴なつて畜産經營も近年多頭化の方向を強め、その形態を大きく変えつあります。

農林構造統計課の発表によると表Ⅰのように、乳用牛については四十五年以後著しく多頭化の傾向が強められていて、これを農家一戸当たりの飼養頭数でみると三十五年に一・七頭であったものが、

四十一年には三・一頭、四十七年には八・三頭になり着実な伸びを示しております。さらにこれを成畜の飼養頭数規模別にみますと、飼養戸数は四十一年二月以降一・四頭以下の階層において毎年減少し、四十七年二月の飼養戸数は二・一五〇戸（四十四年対比六六%）に減少していま

す。その反面とくに一〇一・一九頭層は四十年には三・一頭、四十七年には八・三頭になり着実な伸びを示し、肉用牛中四〇%を占めるに至っています。

今後多頭飼育農家の比率が非常に高くなつてくることを物語っています。

一方飼養頭数も規模の大きい階層において頭数が大きく増加しており、一〇一・一九頭層では一二・四八〇頭と一三倍に增加、とくに二〇頭以上では五・八七〇頭で五倍に増加しております。一〇頭以上

上の階層が総飼養頭数に占める割合は四〇倍、三〇頭以上では三六倍と大きく増加しております。

一方飼養頭数も規模の大きい階層において頭数が大きく増加しており、一〇一・一九頭層では一二・四八

多頭飼養農家が主体を占めているにもかかわらず、事故防止面での飼養管理基盤が確立されてない現段階では事故率が高いので、加入率はまず良好であります。

### 三、多頭飼育農家に対する共済制度の問題点

現行制度は過去再三の制度改正にもかかわらず、近年急激に変革した畜産經營の実態に即したものとは云いえない面があります。

多頭飼養者の飼養する頭数比率が大巾に上昇している今日、これら多頭飼養者をこの制度外におき去りにし、少頭数飼養者を主体とした家畜共済事業の運営をしていたのでは、眞に吾が國の畜産を助長する制度として支持を受け、そして発展させることはできないでしょう。このような状況の中で專業的あるいは主業的多頭畜産農家を現行制度の中に包含されることには幾多の問題点が山積しているといえます。以下この点に触れてみます。

#### (一) 掛金率の増高と負担の過重

近年経営技術の向上と関係機関の損害防止対策が普及されているにもかかわらず、個体の生産性の向上と、多頭省力管理等が主な原因となり、事故率は増高しております。

従つて四十七年度の料率改訂、および一部制度改革（掛金国庫負担増額、初診

料給付除外）が行なわれたにもかかわらず、なお農家負担額が増高という結果が出でまいりました。

乳用牛の多頭飼育農家の中には掛金の農家負担額が増高し、現料率一〇%台は過重であり、家畜共済に加入するよりもむしろ平常の事故は早期に見切りをつけ（肉皮等残存物を高額に買却）、損害額は覚悟の上で經營する方が良いという、所謂自家保険的観念を持つ階層が出てまいりました。（国が損害額の約半分を補助してくれますので、共済加入が大変有利になるのですが……）

（多頭省力管理のための牛舎施設をはじめとし、搾乳器機、乳質改善上のクーラー設備、そして畜産公害防止のための糞尿処理施設等々）とか、多額の飼料代、人夫賃、種畜購入費等々出費がかさみ、借入金も多額となり、借入金返済が月々待ちかまえており、資金繰りに苦労している農家が増えています。

従つて共済掛金等の間接的支出が至難となつてゐる農家が見受けられます。

これに加えて掛け金等納入額の過重が加入意欲を喪失しているので、これを緩和するため分納制度（年三回に分けて掛け金を納める制度）もあるわけですが、なおかつ頭数規模の拡大が進行した場合とか、借錢も多額となり、借錢返済が月々を止めてしまつて、そのまま加入しやすい健全な制度を保持するため、運営の正常化に努めています。

### 四、多頭飼育農家に対する対策

度の枠内での多頭化対策を早急に実施する態勢にあります。以下ご参考までに県内の地域的に実施されている方策とか事例、指導普及すべく推奨している対策、あるいは今後の課題として検討中の対策案等について述べてみたいと思います。

#### (一) 乳代よりの掛け金準備積立金

毎月の乳代の支払日に次期掛け金を月々按分積立する方法、云いかえれば掛け金等年額を二回分納する形となります。現在一部多頭飼育農家とか酪農組合で実施していますが、負担軽減の上で好評であります。

#### (二) 掛金補助

掛け金を国が補助していることはご承知の通りですが、さらに市町村等においても高額加入者とか、全戸全頭加入援助措置として掛け金補助を行つてゐるところがかなりあります。このようなところは全頭加入が実現しています。

#### (三) 補償の細分化（事故除外）

今後特に多頭飼育農家に対しては一部定頭数以上飼育しているものに対しても必要度の少ない補償面を除外して掛け金負担の軽減をはかる途を検討しています。

#### (四) 肉用牛の共済掛け金立替方式

肉用牛の多頭飼育經營は、経済連とか農協の貸付牛が大半を占めています。これらについては導入時農協が一括共済掛

結果を招来し、未加入という形に追込まれるケースが見受けられます。

今後これら多頭飼育農家の加入しやすさが別建となり、從来よりも農家負担額が増加いたしました。多頭飼育農家が大半を占めている肥育牛では、現在の肥育經營技術の初步的不安から加入意欲の低下が認められています。しかしながら、事故多發農家と管理技術の優れた農家負担額となるよう共済掛け金率の低減対策、掛け金補助額の増額、掛け金分納方針の改善、あるいは補償の細分化等を検討する必要が生じてまいりました。

### （二）肥育牛経営の不安要素

肥育牛においては四十七年度から料率が別建となり、從来よりも農家負担額が増加いたしました。多頭飼育農家が大半を占めている肥育牛では、現在の肥育經營技術の初步的不安から加入意欲の低下は概して認められています。しかしながら、事故多發農家と管理技術の優れた農家負担額となるよう共済掛け金率の低減対策、掛け金補助額の増額、掛け金分納方針の改善、あるいは補償の細分化等を検討する必要が生じてまいりました。

## 伸びゆく畜産 あとおす共済

# 家畜共済に全戸全頭加入しましょう!!

## 岡山県農業共済組合連合会

### 盆栽あれこれ

#### 凡風人

#### 肥料のやり方

(3)

#### 主要樹種別施肥の方法

##### 一、黒松

完成したものは油粕四、骨粉二、米糠二、魚粕二に水を加えて練り团子状にまるめて乾燥させ、これを使います。

團子にしないで粉のままでもよろしいが四隅におきます。スルメの足とかアサリ貝の煮た汁をやつても効果があります。

黒松と同様でよろしい。

松類では共通のことと思いますが、あまり肥料をやりましたり葉水をやると葉が伸びすぎるので注意します。

肥料は新芽の伸びるころは控えめにし、八月下旬から十一月初旬迄あります。

肥料は油粕だけですと土が酸性になります。肥料を混ぜてやります。完

ります。

#### 七、そろ

肥料の樹種です。水肥か置肥を春から夏の土用まで毎月一回与えます。

八、いちょう

肥料は新芽の伸びるころは控えめにし、八月下旬頃は少量とし八月下旬か

ら九月一杯は水肥、置肥を交互にやります。

九、さつき

肥料は新芽の伸びるころは控えめにし、八月下旬から十一月初旬迄あります。

年頭にあたり、本事業に一層のご理解とご協力を賜わりますようお願いするとともに、今後日本畜産の主柱となるこれら多頭飼育農家に適合する共済制度の実現が一日も早くからることを切望し、併せて本県の畜産がますます健全な発展をいたしますよう皆様のご健斗を祈願するものであります。

# 謹賀新年

牧草と蔬菜のたね

ビニール鉄骨ハウス外農用資材

岡山種苗株式会社  
岡タネ一宮研究農場

岡山市清心町 電話(52)2201

# 謹賀新年

昭和48年元旦

岡山県家畜人工授精師協会

会長 惣津律士

## 取扱品目あらまし

動物用ワクチン・血清類一切  
獣医畜産用薬品全般  
家畜・家禽の飼料添加剤各種  
獣医畜産用器具機械類  
衛生材料(ガーゼ・脱脂綿・綿帶・その他)  
土壤関係検査測定器具・試薬



岡山県獣医畜産事業協同組合

岡山市駅元町16-11 TEL 52-2802

# 乳は国産 エサは全酪

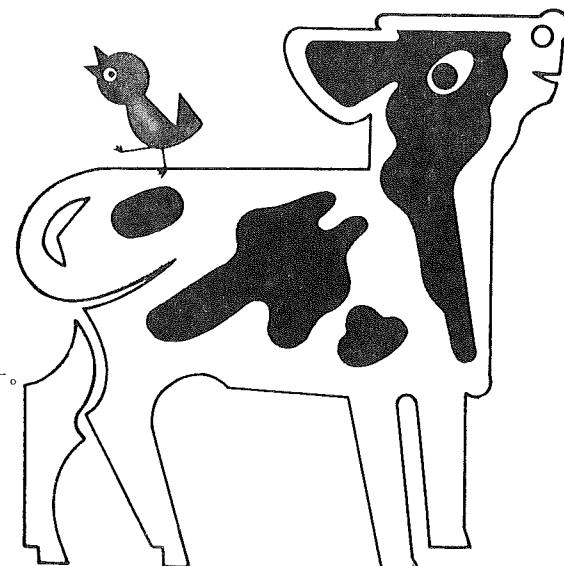
団結は力!

系統利用は団結の象徴

最高の水準をゆく全酪連乳用子牛育成体系  
(乳牛の飼料は専門の全酪連におまかせ下さい)

### 主要取扱品目

専管、増産ふすま。外国大麦飼料。  
カーフトップ。脱粉飼料。カーフスター。  
幼牛用、搾乳用配合飼料。  
その他酪農用飼料資材全般。  
市乳、バター、チーズ、練乳、粉乳。



日夜酪農民の利益増進に奉仕する酪農専門農協!  
**全国酪農業協同組合連合会**

### 牛乳の20%増産の秘訣は

蚊・蠅のいない好環境から

**DAIRY**  
酪農かとりせんこう



■本品はビレトリンだけを含有、問題になつたD.D.T.、B.H.C.、ドリン等の塩素系農薬は一切含んでおりません。従つて牛の健康をそこなわず、しかも牛乳中にも毒性が検出されません。  
お求めは所属の組合へ

豊年薬品商会

大阪市住吉区東加賀屋町3-5-2  
電話 大阪 06(671)5662(代表)  
郵便番号 558

編集室から

明けましておめでとうございます。

丑歳を迎える今年も大いに頑張りたいと思ひますので、よろしくご指導とご援助を賜りますようお願いいたします。

新年早々飼料は値上がり、それにつれて肉も、卵も値上がりを続けています。売り値が上っても、原材料の飼料が値上がり、労賃が値上がりでは畜産農家も有難くない。

更に加えて畜産公害が喧ましくなってきた。これという決め手もないのに一方では抱束して法で取締るのであるから、畜産農家も楽ではない。今年の十月から

は水質汚濁防止法も実施の段階に入る。畜産適地は大資本による土地買占めで畜産は行き場を失い、移転を計画すれば地元は反対するし、畜産にとってはやり難い年になりそうな気がする。

定価	印刷所	発行所	編発行月通号	第二四巻 第一 昭和四十八年一月	岡山県畜産便り (一月号)
一電ふ岡振電岡集行人二卷 部話や山替話山人二卷 代や市岡山市十第一 (表)丸岡山下藏惣五二 内高の山石百日百 四速内八八八井知津發行十二 (送九速二五五 料五印の七七産二の六 共一刷一五五 番所一番番会教士					